

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第 2 4 回 次世代に引き継ぐ 淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会		
事務局 (担当課)	都市計画課	電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 7 (直通)	
	生涯学習課	電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 8 7 (直通)	
	公園課	電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 3 (直通)	
開催日時	令和 4 年 1 1 月 2 0 日 (日) 午後 2 時 ~ 午後 4 時 1 5 分		
開催場所	けやき会館 2 階 職員研修所 大研修室		
出席者	市民検討会 委員	1 8 人 (1 5 ページのとおり)	
	有識者協 議会委員	3 人 (1 5 ページのとおり)	
	その他	2 人 (各施設担当者)	
	事務局	1 2 人 (都市計画課長、生涯学習課長、公園課長他 9 人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1 人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会議次第	<開会あいさつ> 1 基本計画修正素案について		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。（◎は市民検討会委員の発言、○は有識者協議会委員の発言、●は事務局の発言）

1 経 過

公園課長による開会の後、要綱第5条第3項の規定に基づき、有識者協議会の野口会長進行のもと、傍聴の確認を行った後、基本計画修正素案について事務局から説明し、質疑応答を行った。

2 議 事

(1) 基本計画修正素案について

事務局から資料1、2、参考資料に基づき、基本計画修正素案について説明した。その後、質疑応答を行った。

◎： 今後、パブリックコメントを行う予定とのことだが、パブリックコメントを実施する時に、資料2のようなページの多い冊子の資料であると、見る側の市民は大変であると思う。パブリックコメントで用意する資料について伺いたい。

●： パブリックコメントでは、本日配付した資料2の様な冊子状の基本計画案と併せて、ボリュームを少し抑えた概要版も準備したいと考えている。

◎： 概要版は既に作成しているのか。

●： これから作成していく予定である。

◎： 2点あり、1つ目は、矢部の子どもたちの居場所がなくなるという点についてである。資料編の主な意見には、その旨の意見も記載していただいているが、本編中にないと、やはり資料扱いとなってしまう様に感じる。可能であれば、第8章の「今後整備・検討すべき事項」に、「子どもたちの居場所の代替を検討します」といった一文を入れていただきたい。

2つ目は、資料1のP3に記載のある「新たに設置を検討する公園施設」の内容についてである。公園WG内での検討の中では、カフェの様な飲食できる施設がほしいといった意見は多く出ていたと思う。基本計画本編内の公園、若しくは施設の部分に明記していただきたい。

●： 子どもの居場所がなくなるという点についてであるが、青少年学習センターが移転したとしても、地域の子どもたちのための居場所が必要である旨の意見については、資料2のP78の公共施設WGの検討内容の中に記載させていただいている。また、青少年学習センターについては市全域における施設として位置付けていることから、現在は矢部に設置されているが、市内全

域の中で設置するものと考えている。地域の子どもたちの居場所といった視点で考えると、児童館やこどもセンター等の利用を案内することになるが、青少年学習センターの近所に住んでいる方の視点に立った場合には、大きな環境の変化となることもあり、資料編に記載する形で整理させていただいた。本編への記載についての意見をいただいたが、施設所管課等と相談した上で検討していきたい。

- ： カフェの設置については、資料2の本編の公園部分の記載の中では明記しておらず、P28のまちづくりの取組の方向性等の部分で記載している。公園部分での記載については、検討委員からいただいた意見に記載する等検討していきたい。
- ◎： 本文に記載があった方が良くと思う。確かにP28や複合施設の部分に少しだけ記載があるが、もう少し目立つようにした方が良くはないかと思う。
- ◎： 今の青少年学習センターに対する答弁を聞いていた中で思ったことがあるので申し上げる。これまで一緒にやってきた委員が「背後から撃たないでくれ」との気持ちはわかるが、答弁を聞くと撃ちたくなるなどと思った。青少年学習センターは市全体のものであり、地域には児童館やこどもセンターが設置されていることも理解している。しかし、今まで雨の日とかに青少年学習センターで遊んできた子どもたちの居場所がなくなるという、その地域の人たちの切実な思いが汲み取られていない様に感じる。今後、施設所管課等と相談していくとのことであるが、是非、市として血の通った対応をしていただきたい。
- ： 市全体としたマクロな視点で見ると影響が少ないが、地域というミクロな視点では影響があるという意味で発言させていただいたが、言葉が足りなかった部分があった。いただいた意見を踏まえて、施設所管課等と調整していきたい。
- ◎： 是非お願いしたい。
- ◎： 1点目は、資料2のP44に公園の概略図が掲載されているが、公園WGで検討した3案の施設配置エリアが1つにまとまっているが、3案ごとに区切った方が見やすいと思う。
2点目は、資料2のP28に「鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用した複合施設の整備」、「施設の機能向上及び利用者の利便性の向上を図ります」との記載があるが、もう少し本質的・具体的に記載してほしいと思った。個人的な意見だが、「鹿沼公園と図書館と施設の魅力を同時に、より密接にした上での魅力空間を創ることを目指す」といった文言にしてはどうか。
3点目は、資料2のP37に公共施設再整備の基本方針が記載されている

が、社会教育施設として今後どのような方向性を目指していくか、図書館としてどの様に進化していくのか等といった記載があっても良いかと思う。その際に、P 5 3のオープンハウスで使用したエリアマップ図等を活用して表現すると、より見やすくなると思った。

- ： P 4 4の公園の概略図についてだが、このページではあくまでも、存続する施設、廃止する施設についてまとめたものをお示しするための概略図として記載しており、個別のゾーニングプランについては、P 4 8以降に掲載しているのでそちらで確認していただきたい。
- ： P 2 8の本質的・具体的な文言については、具体的な文言の案をいただきましたので、その内容を踏まえて検討させていただきたい。
- ： P 3 7の社会教育施設の目指す方向性が見えにくいとの意見については、P 3 8の(3)の部分でより具体的な内容を記載させていただいている。こちらの内容については、先日の有識者協議会の中でも意見としていただき、新たに追加させていただいたところである。

P 5 3で掲載している図については、市民検討会で作ったものをそのまま掲載しており、事務局の方で逆に手を加えないほうが良いと考えている。

- ◎： 防災対策についてだが、現状は、まちづくりセンターが防災拠点を担っているが、当然、施設の規模が大きくなることで、総合的に防災対策を考えなければいけなくなると思う。その中で、電気が確保できるソーラーパネルや飲み水が確保できる井戸等をしっかりと整備していただきたい。また、トイレについては、施設が拡充することで必要台数を整備していくことになると思うが、施設複合で共用部中心に10%減とある中で、防災対策に係る整備については除いていただきたい。排水機能を維持するための浄化槽、仮設トイレとして活用できるマンホール等、公共施設と併せて公園も整備していく中で、公共施設、公園それぞれで取り組むことができる防災対策について、しっかりと考えていただきたい。

もう1点あり、駅前の自転車駐車場についてであるが、自転車駐車場の仮設、若しくは移設に公民館やまちづくりセンター等の跡地を活用するという話であるが、再整備すること自体は問題ないが、再整備についてのスケジュールを示していく必要がある。例えば、複合施設が整備されるまでに約6年としているが、いつから跡地の活用を検討していくのかを今から考えていかないと、複合施設が整備されてから、後手後手になってしまい、跡地の活用が10年、15年先になってしまう恐れがある。そうすると、せっかく空いた土地も遊ばせてしまうことになるため、その辺りのスケジュールについて、市の考えを伺いたい。

- ： まず防災についてであるが、電気設備の整備、飲み水やトイレの確保等、具体的なお話をいただいた。そういった個別の整備や対策等については今回の計画の中では細かく記載していないが、計画策定後に検討すべき事項として整理し、計画策定後に検討していきたいと考えている。
- ： 駅前の未利用市有地の活用についてであるが、駅前の自転車駐車場については、駅前での機能維持を前提に検討するとしており、現地建替えなのか移転建替えなのかは今の時点では定まっていない。ただし、公民館等の跡地としてスペースが空くことで、仮設又は移設先として設置することが第一段階目としての活用となり、行政課題の解決につながるものとして、修正素案に記載している。跡地活用の検討に係るスケジュールについても、いただいた意見のとおり、「今から考える」という視点がとても大切だと思っている。そういった点については、駅前の自転車者駐車場再整備における手法や、その後の跡地活用について、今後一体的に検討するように取り組みたいと考えており、修正素案にもその旨記載しているところである。
- ◎： 資料の細かいところであるが、資料2のP17にこれまでの地域での取組状況についての記載があるが、大野北地域まちづくり提言書は、まちづくり会議から提言された等記載した方がいいと思った。資料2のP18の「パブリックコメント」の記載が、「パブリックコント」となっているため、訂正していただきたい。

同じくP18のパブリックコメントで寄せられた主な意見があるが、公園の中に施設を建てること自体が反対である旨の意見が多数あったと記憶している。そういった意見についても、ここに記載した方がいいと思った。また、これまでまちづくりWGの検討の中で、「駅からつながる公園のまち」という言葉があったと思うが、個人的には良い言葉だと捉えていたが、計画の中に記載がないことが残念である。

最後に、まちづくりWGの中で、様々なイラストが掲載されているが、もっとイラストを分かりやすくできないかと思う。例えば、資料2のP26にあるまちづくりの基本方針における概念図があるが、P32のまちづくりの進め方に係るイメージ図と位置関係が異なっている。概念図は概念であるため、実際の位置と配置が異なることは、これまで検討してきた委員なら理解できるが、初見でこの計画を見た時に理解できるか疑問に感じた。
- ： P17の大野北地域まちづくり提言については、いただいた意見を踏まえて、まちづくり会議から提言された旨を記載していきたい。

次に、パブリックコメントで寄せられた主な意見についてであるが、公園内に複合施設を建てること自体に反対である旨の意見が多かったことは認識

している。それを踏まえて、P18のパブリックコメントの寄せられた主な意見の中で、「今の計画は広く市民の声を聞いたとは思えない」といった意見を載せている。

- ◎： 意見を出した立場からすると、市が意見を受け止めたと感じられないと思われるかもしれない。
- ： 賛成・反対共に沢山の意見をいただいている。基本計画の中への記載の仕方については、考えていきたい。
- ： まちづくりWGの検討結果については、資料編としてP71から記載しており、「駅からつながる公園のまち」といったワードも、グループワークの中で小グループでの議論で出てきていたことは認識している。その後、小グループ同士での合意形成等の過程で整理し、ある程度まとまった成果の中に溶け込んでいるものと認識しており、今回の修正素案の中には、そのまま記載していない。

イラストについては、指摘のとおりと思っており、より見やすいイラストになるように工夫していきたい。

- ◎： 「駅からつながる公園のまち」については、私も意見を言った記憶がある。その後のグループワークの中で、「パークフル」・「ウォークブル」・「リバブル」といったコンセプトにまとめていく作業の過程で絞っていったと記憶している。

今回の基本計画修正素案を見た中で、H29基本計画案と比べて、第2章が新たに設けられ、目指すべき将来のまちの姿が記載されている。H29基本計画案が公表された際には、コンセプトがないことに対して激しく意見を言ったが、今回は載せていただけた。そして、資料2のP37にあるまちづくりの取組の全体像のイメージ図を今回初めて見させてもらったが、これまでの検討結果やその過程を踏まえて、よくまとめていただけたと思っている。

私の立場からであるが、H29基本計画案の内容については、次世代に引き継ぐのにガチャガチャなまちになるような気がしてがっかりしており、全然夢が持てなかった。今回、このイメージ図のようにまとめていただき、まだ「絵に描いた餅」の段階ではあるが、このイメージ図が描けたことに、個人的には夢が持てた気がして、事務局には感謝している。

しかし、まだ「絵に描いた餅」の段階であるため、この夢が実現するかどうかはこの先、具体的にどんな複合施設が整備されるかにかかっていると思うので、まだ完成ではない。

しかし、まさかこんな夢が描けるとはH29基本計画案の段階では思っておらず、事務局に感謝を申し上げたい。

- ： まさに夢を実現するためにこの基本計画があったら良いと考えており、イメージ図として表現させていただいた。見やすさ等も含めて様々な意見もあるかと思うが、この様なイメージを共有することは大切なことだと思っているので、基本計画の中に掲載していきたい。
- ： 先程意見が出ていたイラストについてであるが、P 3 3 のイメージ図がマップを基に作成したもので、P 3 4 のイメージ図はあくまでも概念図をダイアグラム化したものである。異なる性質のイメージ図であるにも関わらず、イメージ図の真ん中に同じ形で公園の図が入っているため、イメージ図全体が見づらくなっているのではないかと思われる。
- ◎： 資料2のP 4 2のテニスコートについてであるが、テニスコートは今回4面を確保していく方針であることは、スポーツ協会としては非常にありがたいと思っている。テニスコートの利用率は9 8 %とニーズが非常に高く、引き続き4面確保を前提に検討していただきたい。また、廃止とする公園施設のところでは、軟式野球場があげられており、こちらはスポーツ協会としては残念である。現在、横山公園など既存の施設の老朽化が進んでいる中で、改修や修繕等の対応をしていただきたいと思っている。そういった対応等について、基本計画の中に記載していただきたい。
- ： 改修や修繕等の対応状況について、基本計画の中に記載する形で検討していきたい。
- ◎： 資料2のP 8にSDG sとの関係等についての記載があり、有識者協議会でも意見が出ていたとのことであるが、公園で言えば、災害時等を見据えた雨水利用や、先程意見が出ていた災害時のトイレ使用等、そういった部分の視点も踏まえて整備していく必要があると思う。そう考えると、目標6の「安全な水とトイレを世界中に」が対象となってくるのではないかと思う。また、SDG sの目標1や目標2にもある、貧困や飢餓ゼロの視点で考えると、一見関係がないと思われるが、身近で考えると、市民検討会の中でも、こども食堂といったキーワードが出ていた。第6章のP 5 4に料理実習室の機能についての記載の中に、こども食堂としての利用ができる等を加えてはどうか。行政に頼るのでなく、社会的企業やアントレプレナー制度等の取組が注目されている中で、相模原市があえて踏み込んで取り組んでいくことも一つの方法であると思う。
- ： SDG sについてであるが、基本的には相模原市総合計画の施策の中で、相模原市としてはこのゴールと深く関係があるという整理がされているところである。相模原市総合計画を策定する際に、SDG sの目標1～17の

中で、施策一つ一つを見ると関連するゴールが多数となることから、主なものに絞って挙げている。この基本計画は、相模原市総合計画に基づき作成しているため、基本的な目標の設定については整合を図った上で、P 8に記載のある目標を今回の事業と密接に関わりのあるものとして設定している。目標6については、水の問題や災害対策等の視点も踏まえて、関連するものとして追記を検討していきたい。

また、子ども食堂については、公共施設WGでの検討の中でも意見としていただいております、P 77の主な意見の部分に記載している。第6章については、各スペースの主たる機能について記載しているため、細かい施設内の運用等については、計画策定後の検討事項として整理させていただきたい。

- ◎： ホールについてであるが、市民が気軽に発表できるというコンセプトの下で、照明や音響については基礎的なものと記載されていることに疑問を感じる。基礎的な設備の方が気軽に利用できると思うが、別の視点に立ちホールに必要な機能を考えると、本格的な音響設備を備えたホールは必要ではないかと思う。先日傍聴した図書館協議会の場合でも、同様の意見は出ていた。本格的な設備のホールに地元のアーティストや全国区のアーティストの方々を誘致することで、地域との関わりを保てる拠点の創出や、複合施設の大きな魅力になるのではないかと思う。市内でも、吹奏楽の全国大会に出場するレベルの音楽団体が出てきている等、音楽団体のレベルが向上している中で、現在でも市内の各施設に多目的ホールがある中で、同レベルのホールを新しく整備するのは勿体ないと個人的に思う。近くで言えば、あじさい会館に多目的ホールがあり、先日も中学校の吹奏楽部の演奏会が開催されている等、気軽に利用できる施設である。相模原市の現在の財政状況の中で南市民ホールの例も踏まえると、今後、ホールを新設していくことは難しいと思われる。アマチュアもプロもここで演奏してみたいと思えるようなホールを整備するべきではないかといった意見は前からずっと主張している。例えば、相模湖にある相模湖交流センターに本格的なホールがある。立地で言えばとても不便な場所にも関わらず、国内トップレベルのアーティストの演奏が行われている。「あそこは良いから一度行ってみよう」と言われる様なホールがあると、複合施設自体のシンボルになる。また、良いホールはコンクリートの厚みもあり、シェルターとしても活用できると思う。

2点目は、「ゆるやかにつながる」のワードが基本計画の中でも度々出てくるが、ただつながるだけでなく、ゆるやかにつながることのメリットについて、記載した方がいいのではないかと思う。「ゆるやかにつながる」というワードだけでは、イメージできない方もいると思われるので、どういった

状況なのか、何が得られるのか、そういった記載があると分かりやすいと思う。

- ： まずは、ホールについてであるが、この部分については、本格的なホールなのか、気軽に利用できるホールなのか、双方の意見があると思う。市民検討会や図書館協議会でも回答しているが、本格的なホールの整備となると、全市的に文化施設を整備する検討から始めていく必要が出てくる。これまでの市民検討会での検討の中では、青少年学習センターで行われている様な既存の活動が継続できるレベルのホールということで議論してきたと認識しており、市としての考えも同様である。次に、「ゆるやかにつながる」については、指摘のとおり、初めて基本計画を読んだ方でも、場面がイメージでき、何が得られるのかが理解できるような表現の仕方について、考えていきたい。
- ： 「ゆるやかにつながる」については、まちづくりWGでの検討の中で出てきたワードであり、例えば社会学での説明では、「いつもはあまり付き合いのない知人との関係、弱い結びつきであるが、日頃は得られない情報を運んできて強い力を発揮する」と言うような意味もあるとのことで、まちづくりWGでもその様な趣旨で議論した。表現については、考えさせていただく。
- ◎： 「ゆるやかに」というワードに関してだが、よく「絆」って表現があると思うが、「絆」よりは結びつきが弱い関係性というイメージを持っている。
- ◎： ホールのことで公共施設WGの方に質問であるが、青少年学習センターが集約・複合化されることによって、本格的な設備のホールの整備よりも、青少年たちが自分たちで操作して、楽しめることが一番の目的かと思っており、基礎的な設備のホールを求めていると認識していた。本格的な設備のホールが必要だという意見も出ていたのか。
- ◎： 何年前かにサン・エールさがみはらでV-tuberと舞台役者がコラボレーションした劇をやっており、V-tuberがライブでなく録音音声に合わせて舞台をするという、若い人たちが実験的な試みで行っていた。そういった新しい試みをやる団体が出てきた時に、対応できるホールがあった方が良く私は思っている。また違う話だが、今、新国立劇場でボリスゴドノフをやっているが、映像表現とコンベンショナルなオペラと融合したトップレベルの作品である。そういった作品が、何年後かにはアマチュアレベルに下がってきた時に、今ある技術に加えて何かできる技術が許容できるような設備を今のうちに考えておかないと、いつまでたっても進歩がないと思っており、表現の幅も広がっていかないと思う。新しい設備が備わることで、今まで利用していた人たち以外の方も利用できる形になるのが理想である。例えばコンピューター上で映像を操作するクリエイターをやりたいと思ってい

る人が加わることで、新しい映像表現、参加の主体も幅広い人たちが集うようになってきている。今までやってきたレベルのホールをそのまま維持するのではなく、新しく整備するタイミングで、今まで以上の設備を備えたホールを整備していかないと、今後の文化活動のレベルが落ち込んでしまうのではないか。市内にある、あじさい会館、市民会館、グリーンホール等、今までのコンベンショナルな活動はそういったコンベンショナルな施設で行い、新しく整備する物については、これからの時代のニーズに合わせた施設整備の余地を増やしたほうが良い。

◎： ホールに導入する設備のレベルや施設の規模等は今後検討していく必要があると思うが、個人的な希望としては、プロしか使えないものではなく、学生なり、市民団体が利用する時も、事前に指導することにより自分たちで楽しめるようなレベルの設備を整備していただきたい。

◎： レベルの高い設備があれば良いと思うが、青少年学習センターのホールでは、中学校や高校の演劇の大会等が開催されている等、利用者のニーズを考えると、気軽に利用できるホールであると思う。今の青少年学習センターのホールの良いところは、青少年が利用する際に使用料減免でホールを借りられることであり、子どもたちが気軽にここで発表したい時に、無料で貸していただける市内の公共施設の中でも貴重な場所だと思う。

私も子どもたちとダンスサークルを十何年やっていたが、ここのホールで発表できるということは、一つの目標であった。実際に、音響や照明を自分たちで操作して、それがきっかけで、音響・照明の仕事に就いている人や、ここで演劇をしていた子が、プロの俳優やアイドルとして活躍している人もいと聞いている。敷居が低いホールとして、子どもも大人も気軽に利用できるホールが整備されることを願っている。市民検討会の中で青少年学習センターのことを知っていただき、ホールのことを議論していただけたことを嬉しく思う。

◎： 資料2のP28を始め、複数のページにPPP/PFI手法に係る記載が本文にあるが、PPP/PFI手法に関する説明がない。略語等については一とおり説明や注釈等を載せると、基本計画が読みやすくなると思う。

●： 基本計画を手にとってもらう市民に分かりやすい観点で、注釈が必要な部分に関しては加えていきたい。庁内で調整している中でも、ZEB化の検討等については、少し説明が必要だと考えている。略語や英語で記載しているものを含めて検討していきたい。

◎： 資料2のP48の公園におけるゾーニングの共通事項の部分で、「公園の東

側外周部に園路を設け」とあるが、朝晩の自転車の混雑緩和については、「一部を自転車通行可能とするような措置を検討します」と表記していただいている。自転車が通行可能かどうかは別として、自転車の混雑緩和が目的であったと思う。私のイメージだと、歩行者用の通路を確保して、自転車は今の車道を通ってくれば良いと思っていた。

そうすると、「自転車の混雑緩和のための措置を検討します」と記載した方が良いと思う。今の記載だと、公園の一部を削って自転車が通れる通路を確保する様に読み取れる。記載方法を検討していただきたい。

- ： 東側外周部の園路については、歩行者用と自転車通行用、両方の通路を確保する予定である。
- ◎： 公園の面積が大きく削られることは望んでいない。必ずしも自転車が通らなくても、歩行者専用の通路のみ確保できれば良いと考えているが、検討の余地はあるのか。
- ： 朝晩の自転車の通行が危険という意見があり、そういうことを含め兼用工作物という形で歩道と自転車両方が通行できるものとして考えている。公園WGの中でも、両方という意見もあった。そのため、両方が通行できる幅を確保する方向で検討している。
- ◎： 両方のスペースを確保することで、交通公園外側の外周が削られることを懸念している。歩道は幅をどう取るかも踏まえて、含みを持たせた表現にして検討していただきたい。
- ： 外周部に園路を整備したとしても、児童交通公園の場所は確保するものと考えている。歩道の幅等については、今後検討していきたい。
- ◎： 公園外周部については、公園WGだけでなく、まちづくりWGでも検討してきたが、道路が朝晩の時間帯において、人・車・自転車が混在した状況で双方向に行き来し混雑をきたしていることが課題であり、まずは車の通行を考えていくというのが意見としてあった。しかし、自転車は車両なので公園の敷地を削って入れるのは本末転倒だと思う。誘導するために一部のみ自転車が公園内に入るのは理解できるが、公園WGでは、自転車は園路での走行は考えていなかったと記憶している。
- ： 確かに自転車は車両で、道路との関係が出てくると思う。今後検討していく中で、表現方法も含めて考えていきたい。現時点においては、表現としてはこのままとしたい。
- ◎： 資料2のP49の池北側案のゾーニングイメージのメリットにのみ、「防災効果や災害時利用に期待ができます」との記載があり、これだけ見ると、池北側案のみ防災機能に優れていると捉えられてしまうのではないかと思

う。

また、ホールについてであるが、自身が公民館を利用している立場からすると、ホールとして活用している公民館の大会議室と、青少年学習センターのホールの利用者同士が、ホールの取り合いにならないかが気になる。

- ： 防災機能については、3案全てにおいて備えていると認識している。記載の仕方については、検討していきたい。
- ： ホールの利用についてであるが、ホールと公民館の大会議室では、設備の内容が違おうと思っており、一義的に発表等はホールを利用させていただき、日頃の練習等は大会議室やホール等の空いている諸室を利用させていただきたいと考えている。複合施設になることで、諸室の利用が出来なくなるようなことが無い様に、運営方法や体制等について検討していきたい。

- ◎： 細かい部分であるが、P 4 1の上から3行目の「計画的なものは」いらぬ単語だと思う。また、P 3 0を読んでいると、財政面で跡地を売却しないと施設の再整備が出来ない様に読み取れる。跡地の活用の検討と施設の整備は別のことではないのか。
- ： 事業全体として、公民館やまちづくりセンター等の跡地の売却又は貸付け等は、施設の整備後となるため、時期はずれている。しかし、こうした土地活用で財源を生み出さないと事業自体を進めていくことが難しい状況である。そういった状況であることを、もう少しわかりやすく記載していく。
- ◎： 売却や貸付け以外の跡地活用方法も検討していただきたいが、検討の余地はあるのか。また、P 3 0には土地を民間が活用すると記載されているが、民間というのは地域を含むのか。
- ： P 3 0にも記載のとおり、将来へ過度な負担は残さないといった視点で考えており、行財政構造改革プランでも、跡地の売却や貸付け等が事業推進の前提的な考え方として整理している。土地活用について検討する中で、様々な意見をいただいております、主な意見はP 7 2に記載させていただいております。

- ◎： 資料1のP 4 3の広場に関する記載の中で、新たに整備を検討する公園施設として「多世代健康スポーツ施設」とあるが、健康スポーツ施設について議論する中では、主に若者の利用をイメージしていた。この記載だと、高齢者向け施設に思ってしまうので、若者も含めて利用できることが伝わるように記載方法を検討していただきたい。
- ： 記載方法について検討していく。
- ◎： 「多世代健康スポーツ施設」についてであるが、議論の中では、若者と高齢者が同時に活動できる場としてイメージしていた。

- ◎： 生徒数の増加に伴い、空き教室がなくなったことにより、大野北中学校の生涯学習ルームがなくなるという話を、地域の方から聞いた。そうなる、その分の地域の活動スペースが無くなるということになる。公共施設マネジメントに基づき、施設面積を縮減していくありきでなく、地域の事情も考えていただきたい。
- ： 生涯学習ルームについては、学校に余裕教室があるということが大前提で設置しているが、大野北地域は現在、人口が増加しており、学級数も1学年に7クラスが必要となっている。大野北中学校の空き教室の有効活用策の中で、生涯学習ルームが設置された経緯がある。閉鎖した分については、代替として活用可能な中学校の空き教室等の有無を踏まえて検討していきたい。
- ◎： これまで長期間に及び、委員の皆さんで時間を割いて話し合いをしてきたと思っている。市民検討会委員としての役目が一旦終わりとなるが、計画策定後に今後の事業に係る内容の確認や意見を言う場はあるのか。市の担当者がどんどん変わっており、市民検討会立ち上げ時の担当者はもういない。職員が変わっていく中で、ここまでの議論の内容が少しずつ変わってしまうことを懸念しており、すごく不安である。実際完成したものを見た時に、「何だこれは！」となるのが1番困る。私たちもこれまで検討してきた責任がある。一旦終わることは仕方がないが、今後、中間的な報告をいただき、それについて確認する場等を設けていく等の考えがあるのか伺いたい。
- ： 基本計画策定という節目が一つの区切りとさせていただきたい。しかし、前回の市民検討会の時にも複合施設の運営方法等の検討に関わりたかった意見をいただいております、形式は未定であり具体的なことはお伝えできないが、皆さんから意見をいただく必要はあると考えている。
- ◎： 市民検討会としては、次回にパブリックコメントの結果報告を聞いたところで終わりと思っているが、以前からも意見しているが、資料1のP1のH29基本計画案からの修正の方向性の中に、「具体的な内容は、今後、民間活力導入可能性調査等を踏まえ、段階的に整理する」とあるが、この段階的整理の部分でどのぐらい市民が関われるのかを伺いたい。今の回答だと、全く関われないということはないと認識したが、オープンハウスとかワークショップ程度の関わりでは不十分だと思っている。市民検討会の様なものを立ち上げて、そこで検討する必要があると考えている。「絵に描いた餅」の絵を本物にするために、どんな施設を整備していくかを検討できる場が出来たら、相模原市として画期的な市民参加の場ができると思っており、是非検討

していただきたい。

- ： 今後の進め方についてであるが、本日の参考資料の対応状況に記載しているとおり、引き続き市民の方との対話を重ねていく必要があると考えているが、形式等については現時点では決まっておらず、対応が可能な形については、今後検討していきたいと考えている。

また、市民検討会については、立ち上げた当初から、基本計画を策定するまでの部分を検討していただくということでスケジュールをお示ししており、次回が25回目となり、最終回と考えている。

3 その他

事務局より、本日委員の皆様からいただいた意見を踏まえて有識者協議会委員との協議、庁内関係課との調整を行い、基本計画案を作成していくこと、今後のスケジュールとして、年明けにはパブリックコメントを実施予定であることを伝えた。

また、次回市民検討会の開催日は、決まり次第連絡する旨を伝えた。

以 上

出 欠 席 名 簿

まちづくりワーキンググループ

氏 名	出欠席
飯田 秀雄	欠席
茅 弘秋	出席
今 美和子	出席
櫻内 康裕	出席
白石 一郎	欠席
進 晴菜	欠席
鳥海 宗紀	欠席
濱野 麻利子	出席
森光 雄一郎	出席

公共施設ワーキンググループ

氏 名	出欠席
太田 裕	出席
小方 明	出席
小野澤 行雄	欠席
上遠野 イク子	出席
金 愛蓮	欠席
佐伯 明美	出席
佐藤 正光	出席
高柳 眞木子	欠席
古谷 明李	出席
森田 朱音	欠席

公園ワーキンググループ

氏 名	出欠席
今井 寿	出席
荻野 弓希子	出席
荻原 ますみ	出席
城田 大介	出席
田崎 一宏	出席
山口 清孝	出席
山本 里紗	出席

有識者協議会委員

氏 名	出欠席
伊藤 眞木子	欠席
大谷 康晴	出席
押田 佳子	欠席
小島 仁志	欠席
杉崎 和久	欠席
野口 直人	出席
山口 直也	出席